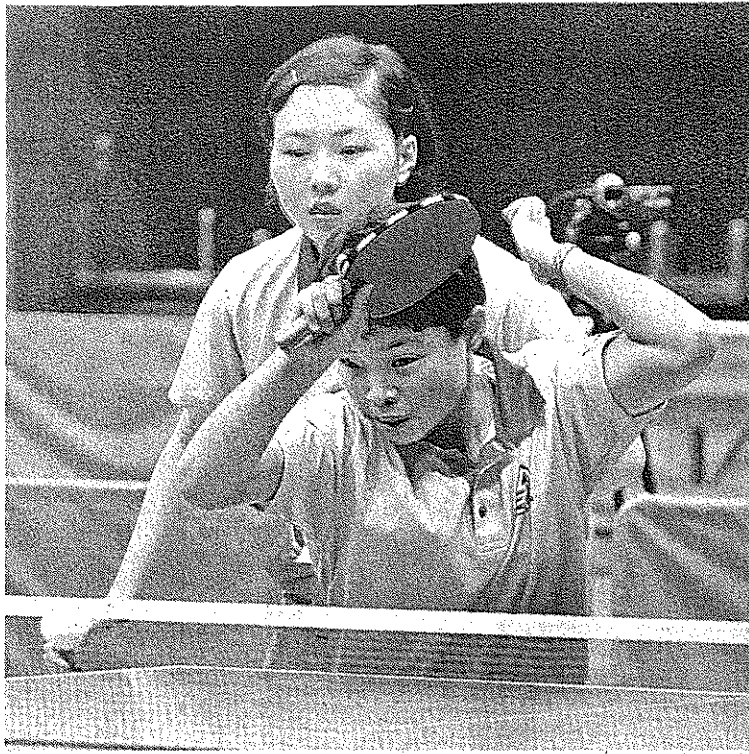


徳島市立3年ぶりV

男子は城南4年連続

卓球

卓球 全国高校選抜県予選
卓球の第45回全国高校選抜学校対抗大会徳島県予選は18日、鳴門アミノバリオールで男子23校、女子11校が参加して行われ、男子は城南が4年連続8度目、女子は徳島市立が3年ぶり13度目の優勝を果たした。男女



女子決勝リーグ・徳島市立対城南 優勝に貢献した徳島市立の寺本（左）と秦（右）鳴門アミノバリオール（村山嘉昭撮影）

の上位2校が四国予選（来年2月4日・愛媛県西条市総合体育館）に出場する。男女とも四国予選の上位3校に全国大会出場権が与えられる。

【男子】1回戦、阿波3-2那賀、城北3-1川島、城東3-1徳島科技、鳴門3-2徳島市立、新野3-0富岡西、阿波西3-0池田辻、板野3-0吉野川▽2回戦、城南3-0阿波、脇野3-0徳島北、城北3-0鳴門渦潮、つるぎ3-0城東、鳴門3-0海部、阿南高専3-1新野、阿波西3-0名西、徳島商3-0板野▽準々決勝、城南3-0脇野、つるぎ3-0城北、鳴門3-1阿南高

専、徳島商3-0阿波西
▽決勝リーグ①城南3勝の徳島商2勝1敗②つるぎ1勝2敗④鳴門3敗
【女子】1回戦、城北3-0富岡東、鳴門渦潮3-0川島、海部3-0阿波▽準々決勝、徳島市立3-0城北、城東3-2富岡西、徳島商3-0鳴門渦潮、城南3-0海部
▽決勝リーグ①徳島市立3勝②徳島商2勝1敗③城南1勝2敗④城東3敗

実力伯仲の激戦制す 徳島市立

上位3校の実力が伯仲する女子は、徳島市立がものにしたい。日高主将は「劣勢になっても我慢できた。練習してきたことが出てうれしかった」と会心の笑みを浮かべた。

正念場の徳島商、城南戦で、日高は第2シングルス戦で勝利。いずれも分の悪い相手との対戦だったが、粘り強く拾ってチャンスボールを強打し、反撃の隙を与えなかつた。

チームリーダーがつけた勢いに1年生が乗った。勝てば優勝が決まる城南戦は、寺本が第1シングルス戦で速いピッチのバックハンドを繰り出し、1-12から逆転で勝利を飾った。左利きの秦と組んだダブルスでは、アースを丹念に突き、秦がフォアでカウンターを決めてストレート勝ち。ラリーの合間には「自信を持って戦おう」と励まし合い、厳しい場面を乗り越えた。

昨年は3位に終わり、四国予選出場を逃した。「フットワークの弱さが敗因」と、自主的に走り込みなどに取り組んで下半身を強化。悔しさを知らずにはなかった。練習はきつかったけれど、結果が出てよかった」と胸をなで下ろしていた。（阿部研一）